

2023年10月1日

安全データシート

ナラシン

1. 化学物質及び会社情報

化学物質の名称	ナラシン (Narasin)
供給者の会社名	コーキン化学株式会社
住所	大阪府東大阪市中石切町 3-7-49
電話番号	072-988-2300
FAX 番号	072-988-2506
電子メールアドレス	yakuji@kohkin.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	飼料添加物

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス類	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分 2
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: ガス)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性 / 刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷 / 眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない	
皮膚感作性	分類できない	

	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回暴露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に関する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと生命に危険

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急措置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器は関係法令に基づき、都道府県知事等の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分

化学物質

化学名又は一般名

ナラシン（Narasin）

別名

(4S)-4-メチルサリノマイシン

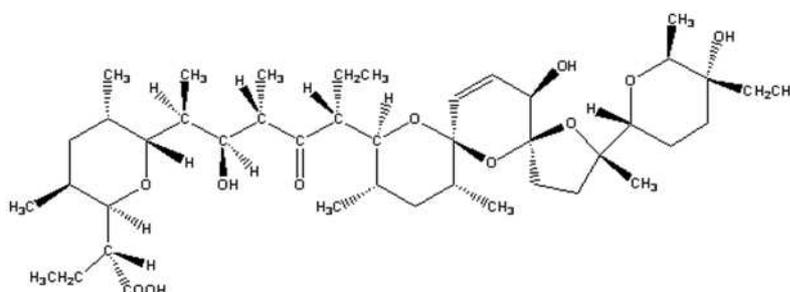
濃度又は濃度範囲

100%

分子式（分子量）

C₄₃H₇₂O₁₁ (765.04)

化学特性（示性式又は構造式）



CAS 番号	55134-13-9
官報公示整理番号	化審法： - 安衛法： -
化管法指定化学物質の選別	-
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 直ちに医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	データなし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	データなし
医師に対する特別注意事項	データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。
使ってはならない消火剤	火を飛散、拡大させるおそれがあるので、棒状放水は避けること。
火災時の特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性または毒性のガスを発生するおそれがある。 摩擦、熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 激しく加熱すると燃焼する。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具（「8. 暴露防止措置及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

二次災害の防止策 全ての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）、プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取り扱い注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 飲み込まないこと。 皮膚との接触を避けること。
接触回避	データなし
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件	施錠して保管すること。 容器を密閉して保管すること。
安全な容器包装材料	データなし

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度	
日本産衛学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	作業所には全体換気装置、局所換気装置を使用すること。 作業所には、洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器用の保護具	適切な保護マスクや呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な保護ゴーグルや保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣、保護長靴などを着用すること。
特別な注意事項	データなし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

物理状态	固体（粒子）
色	灰褐色～暗褐色
臭い	なし
融点・凝固点	98 - 100 : NITE 総合検索 (Access on Oct. 2008)
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限	データなし

界 / 可燃限界

引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解性	水に不溶 : NITE 総合検索 (Access on Oct. 2008)
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び / 又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10 . 安定性及び反応性

反応性	データなし
安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11 . 有害性情報

急性毒性	
経口	ラットにおける LD ₅₀ = 18,500 ug/kg (RTECS(1996))より区分2とした。
経皮	データがなく分類できない。
吸入	吸入 (ガス) : GHS の定義における固体。 吸入 (蒸気) : データがなく分類できない。 吸入 (粉じん) : データがなく分類できない。
皮膚腐食性 / 刺激性	データがなく分類できない。
眼に対する重篤な損傷 / 刺激性	データがなく分類できない。
呼吸器感受性	データがなく分類できない。
皮膚感受性	データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。
発がん性	データがなく分類できない。
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	データがなく分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	データがなく分類できない。
オゾン層への有害性	データがなく分類できない。
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	
国連番号	
国連品名	
国連危険有害性クラス	
副次危険	
容器等級	
海洋汚染物質	
MARPOL73/78 附属書 及び IBC コードによ るばら積み輸送される 液体物質	
国内規則	
陸上規制情報	毒劇法の規制に従う。
海上規制情報	
航空規制情報	
特定安全対策	移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	毒物(指定令第1条)(政令番号:19-7)
-----------	-----------------------

毒物及び劇物取締法

「ナラシン、その塩類及びこれらのいずれかを含有する製剤。ただし、ナラシンとして10%以下を含有するものを除く。」

劇物（指定令第2条）（政令番号：77-2）

「ナラシン又はその塩類のいずれかを含有する製剤であって、ナラシンとして10%以下を含有するもの。ただし、ナラシンとして1%以下を含有し、かつ、飛散を防止するための加工をしたものを除く。」

16. その他の情報

記載した情報は、現時点での知識に基づいていますが、すべての情報を網羅したものではありません。適応する現行の法令を厳守してください。取扱い時には常に注意を払ってください。この製品を、通常の目的以外で使用する場合には十分注意してください。記載した情報は、あくまで危険有害性物質を扱う者が作業を安全に遂行できるよう手助けするもので、保証するものではありません。

参考文献

- ・厚生労働省ホームページ；職場のあんぜんサイト、GHS 対応モデル SDS 情報「ナラシン」（作成日 2008 年 12 月 2 日）
- ・独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ：NITE 統合版 GHS 分類結果「ナラシン」
- ・飼料添加物の成分規格及び評価基準収載書（第二版）（一般社団法人日本科学飼料協会、平成 31 年 1 月）「ナラシン」

他